

Q

レンジフードをお手入れした後に、
ボタンを押しても運転しないのはなぜ？

A

おもに次の要因が想定されますので、取扱説明書の「お手入れ(掃除)のしかた」をよく読み、再確認の上、元の正しい状態に戻してください。

■お手入れ作業時の“うっかり”ミスがそのままになっている。

- ・電源プラグコードが、コンセントから外れている。
または、電源の元（ブレーカー）が切れたままになっている。
- ・部品を取り外した際に、接続を外した配線がそのままになっている。
または、元通りに確実に接続されていない。
- ・お手入れ時の安全機能*1が働いたままになっている。

それでも、直らない場合は

■故障(破損)に至った。

- ・洗剤や水、清掃用の高温の蒸気*2が、スイッチ部やモーター、各部の配線や電気部品に入り込み「絶縁不良」をおこし、機器の故障に至ることがあります。
必ず販売店やメーカーに相談してください。

解説

- ・故障と思われる状態では、絶対に無理な分解や修理行為などをしないでください。
- ・再確認の際は、感電やけがの防止のため、取扱説明書に示す通りに、ゴム手袋などの保護具を必ず着用してください。

その他の注意

製品の内部に入り込んだ水分などが乾燥した後、自然に運転できる状態に戻る場合があります。

このような状態で使用を継続すると、電気部品の劣化が進行し、破壊や事故がおこる原因にもつながります。

必ず販売店やメーカーに相談し、点検を受けてください。

一口メモ

*1 安全機能とは

お掃除や点検時にファンが急に動きだすことを防止するため場合や、あるいは、特定の部品が正しく取り付けされていない場合に、スイッチ操作を受付出来なくするが出来なくなる機能です。

安全機能の解説、この設定・解除の方法は、取扱説明書などを確認してください。

*2 高温の蒸気とは

お掃除用具のなかに、高温の蒸気の吹き付けを利用した製品があります。

電気部品に向けて吹き付けて使用すると、蒸気が製品内部の奥へ深く入り込むことがあり、内部の電気部品の絶縁不良などの故障や破損が生じる場合があります。

このようなお掃除用品の取り扱いにご注意ください。